

2006年 バリ島にて

御野小学校 三好 隆志

2006年8月 バリ島に行きました。昨年の連続爆破テロや相次ぐ津波によって、観光客は大幅に減少しており、日本人はとても少なかったです。バリ島は、南半球に位置するため、冬にあたり、日本より5℃くらい気温が低くて過ごしよい季節でした。また、乾期ということで雨もほとんど降らず、雨期より蚊が少ないようでした。それでは、いくつか要点を絞って見ていきましょう。

1 食事 インドネシア料理の朝食、昼食、おやつ、フルーツです。



2 フルーツ ドリアンとドラゴンフルーツです。ドリアンは切って売っていたものが400円ほど、よく熟れていておいしかったです。ドラゴンフルーツは、輸入物です。上の食卓にはサラック・マンゴ・マンゴスチン・マルキッサがのっています。



- 3 日本語補習校 バリ島には補習校があります。もう20年近い歴史があるようです。小学生と中学生合わせて100人余りと幼稚園児で、約200人が通っているそうです。両親とも日本人の子どもは少なく、母が日本人、父がインドネシア人という子どもが多いようでした。きれいな施設で、みんなのびのびと学習していました。



- 4 オートバイ バリ島の人の足は、オートバイが多いです。最近、月賦で買えるようになって急増したそうです。金利は年3割近くてサラ金なみです。値段は15万円前後です。ヤマハやホンダなどの日本製の他韓国や台湾製のオートバイも見られます。最近はスクーターの人気が出てきているそうです。排気量は100cc～125ccです。



5 自動車

自動車は、税金が高く日本の2倍ぐらいするため年収10万円程度の庶民には買えません。タクシーは初乗りが70円ぐらいで日本の3分の1ぐらいで乗れます。人気車はトヨタのキジャンという車です。最近ではホンダのフィットが良く売られています。スズキのスイフトを見てもお分かりのように、スポイラーをよく付けています。次のワゴンRも日本のと同じですが、軽自動車はエンジ

に負担がかかるためありません。また、4WDやワゴン車も多いです。オートマ車が少ないのも日本との違いの一つです。

